

国際規格 ISO26000 と伊藤園の CSR 活動

International Standard ISO26000 and CSR Activities of ITO EN, LTD.

田 中 宏 司
Hiroji Tanaka

序 論

第1章 国際規格 ISO26000 の発行と特徴

1. 企業の CSR 経営の状況
2. ISO26000 発行までの経緯
3. 国際規格としての特徴
4. 社会的責任の7つの中核主題の内容
5. わが国企業へのインパクト

第2章 伊藤園の CSR 活動

1. 会社の概要
2. 経営理念
3. 主な CSR 活動

第3章 ISO26000 からみた伊藤園 CSR 活動の特徴

1. 伊藤園の CSR 活動の取り組み姿勢
2. ステークホルダーダイアログの特徴
3. 7つの中核主題からみた伊藤園 CSR 活動

終 章

序 論

ISO では、社会的責任に関して 2010 年 11 月 1 日に国際規格 ISO26000 を発行した。この国際規格の特徴は、①すべてのタイプの組織を対象とする、“世界初の総合的な国際規格”であること、②ガイダンスを提供する規格であること、③適合性評価や第三者認証に供されることを目的としていないこと、③マネジメントシステム規格ではなく、成果を期待すること、などである。

そこで、まず国際規格 ISO26000 の主要な内容を紹介し、わが国企業への影響を考察する。次に、企業の実践事例として ISO26000 の視点から伊藤園の CSR 活動を、有識者懇談会の模様や 7つの中核主題からみた伊藤園 CSR 活動などを紹介・分析する。

このような考察から、コンプライアンス経営から CSR 経営への進化が期待されている事情を明示し、将来への筋道を提示する。